

インクルーシブ 「うらじゃダンス」 プロジェクト

岡山大学教育学部中等保健体育科4年

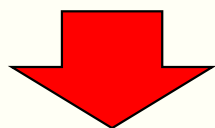
酒向研究室所属 小田愛斗

指導教員 酒向治子

プロジェクト背景

岡山県では...

障害の有無にかかわらず、誰もが理解し合い、共に暮らせる共生社会の実現に向けた取り組みが進められている。

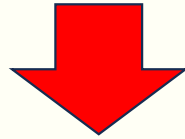


地域の伝統行事「うらじゃ」では...

- 障がいのある人々の参加が不十分
- 文化的活動への参加機会の格差

プロジェクト目的

人々を繋げる社会的手法としての「**舞踊**」が
共生社会を実現する重要な役割を果たす



舞踊の力で文化的包摂の促進と地域における
共生社会のさらなる推進を目指す

インクルーシブな「**うらじゃダンス**」の
開発・実践

プロジェクト目的



インクルーシブ踊り連

「一期一会～輪舞温羅」

多様な障がいをもつ参加者と健常者が共に踊りを通して交流することを目的に設立。

うらじゃの基本コンセプト

「共生と融和」の実現

実行委員会

企業・民間

福祉

キッズハウスいちご
ありがとうファーム
社会福祉法人旭川荘

・うらじゃ振興会・株式会社コネクシー
・スマートドライバースクール
・官公学生服株式会社
吉村武大 高木基博 高木大地

行政

岡山市

産官学福祉連携

岡山大学

[コンテンツ監修・指導] 酒向 治子（学術研究院教育学域教授）
[ダンス指導] ・岡山大学教育学部酒向研究室ゼミ生
・岡山大学ダンス部学生
[運営協力] ・日本身体表現学協会
・高岡 敦史（学術研究院教育学域准教授）

対象//地域

キッズハウスいちご利用者
旭川荘利用者 など
パラリンピック選手

その他 協力団体

<企業>
飛鳥グループ協同組合

<福祉>
たくふう会グループ

協力者・協力団体

- ・代表：吉村武大 さん
- ・副代表：高木基博 さん
- ・幹事：高木大地 さん
- ・岡山大学教授：酒向治子 先生、高岡敦史 先生
- ・岡山大学ダンス部 学生8名
- ・有限会社ストロベリー
- ・社会福祉法人旭川荘
- ・スマートドライバースクール
- ・飛鳥グループ協同組合
- ・官公学生服
- ・キッズハウスいちご
- ・たくふう会グループ
- ・ありがとうファーム
- ・山陽新聞社 / OHK / RSK



調査対象

踊り子 40名

○障がいのある方22名

車椅子:8名（先天性小児麻、脳性麻・後発性後遺症、難病など）

ダウン症:6名

ADHDなどの発達障害:8名

○健常者

大人:8名 + 岡山大学学生8名

子ども:2名

活動期間

○練習

主な練習会場：岡山大学教育学部(5101・5102)

京山こども園(1回のみ)

全体練習会：第1回 5/11 ～ 第7回 8/17

※障害の関係で、一回の練習は約1時間程度

○本番

8/23 うらじゃコレクション

8/24 ハレノワ演舞場(大ホール),イオン演舞場,
総踊り(市役所筋))

<配慮>

事前調査
アイスブレイク



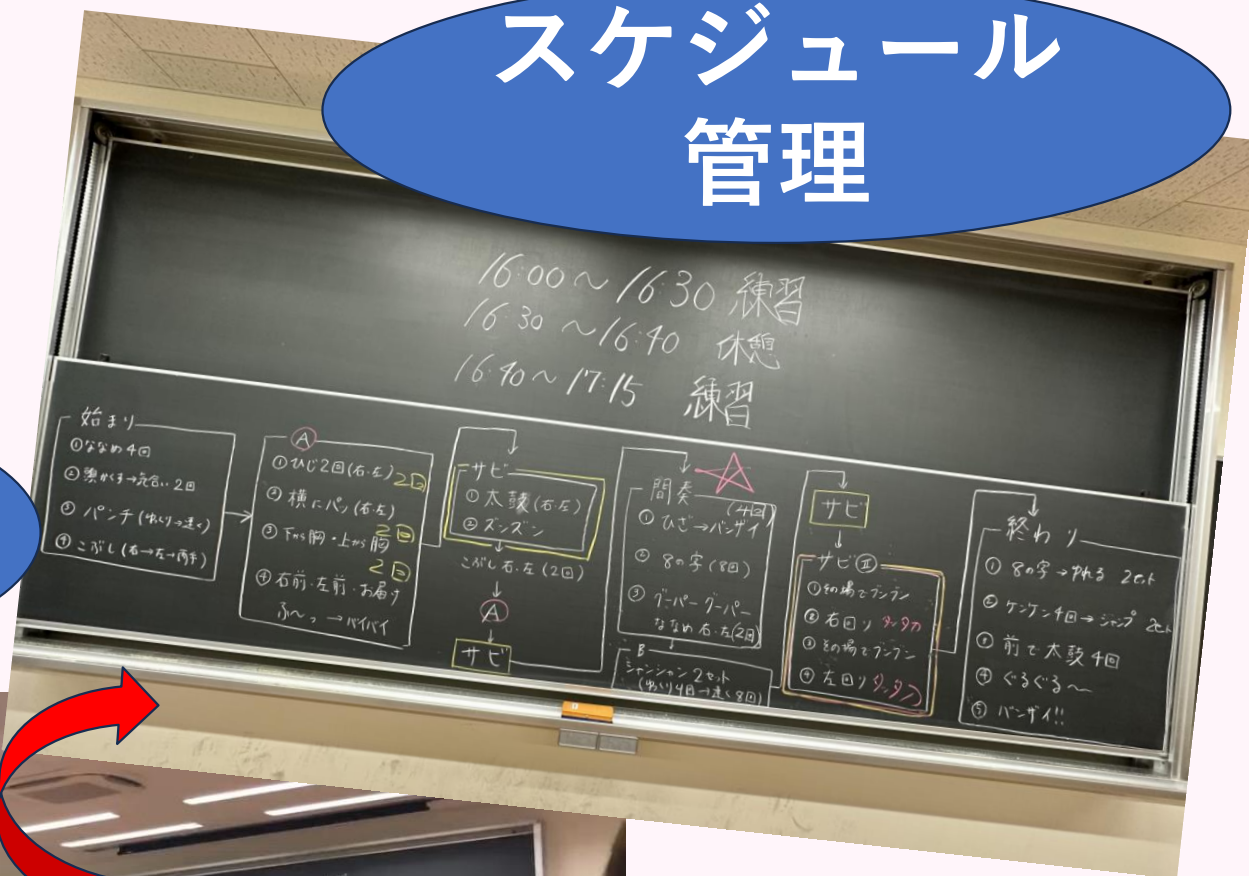
環境整備



<指導>

スケジュール 管理

視覚支援



個々の特性に
合わせて

< 衣装 >





clideo.com

活動の様子

8/24（日）ハレノワ演舞場での本番

▶ YouTube動画： https://youtu.be/7HWdB_2stiM



今後の活動計画

- 継続性の基盤

- 将来の展開可能性

- 学術研究